

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業		
事業の実施者	事業者	ソフトバンク株式会社	
	行政	横浜市市民局地域活動推進課	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下においても、地域の絆をつなぎ、自治会町内会活動を継続・活性化していくため、ICTを活用した新しい活動スタイルを支援する。		
事業の内容	ICTを活用した会議、情報伝達等を体験する講座の実施、相談対応 等		
役割及び責任分担等	必須項目	事業者の役割	横浜市の役割
	オンライン会議、LINEその他のツールを使った情報伝達・共有等の体験	<ol style="list-style-type: none"> 1 講座の企画及び実施 2 参加団体との連絡調整 3 会場設営、運営サポート 4 会議ソフトやLINE等の活用方法紹介 5 上記に係る相談及び講座資料の配布 6 参加者アンケートの実施、 集計、実施報告書の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業広報、事業者提案とりまとめ 2 地区連合町内会との連絡調整 3 参加団体募集、とりまとめ 4 講座の企画・実施協力 5 アンケート全体分析
	ICT活用に関連した相談対応	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談会の企画及び実施 2 電話・メール等による質問、相談対応 3 相談対応記録の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区連合町内会との連絡調整 2 相談会の企画・実施協力 3 相談事例のまとめ、紹介
	今後のICT活用に向けた提案	ICT活用に向けての課題整理、活用手法の提案	ICT活用に関する今後の支援策の検討
実施期間	令和2年10月12日～令和3年12月19日		

記入日	2021	年	12	月	25	日
・団体等名：	ソフトバンク株式会社					
・記入責任者氏名 連絡先：						
・部署名：	横浜市市民局地域活動推進課					
・記入責任者氏名 連絡先：	木村 剛・大和田 晶子 045-671-3624					

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

	事業者	横浜市
この事業の目的やミッションを互いに共有し、理解することができたか。	A	A

②事業実施段階

	事業者	横浜市
互いの役割を自覚し、強みを生かしながら、積極的に取り組むことができたか。	A	A
参加者のニーズや事業の進捗に応じて、臨機応変に対応しながら取り組むことができたか。	A	A

③ふりかえり段階

	事業者	横浜市
参加者が満足を得られたかどうかについて、互いに結果を共有し、確認できたか。	A	A
事業目的を達成するため、互いが役割を果たし、期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

「2 事業実施プロセス相互チェックシート」の結果をもとに相互に本シートを作成し、まとめます。

事業の計画づくり (事業の計画段階で、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはありますか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 (市の担当者の方とは共通の認識でした。) 地区の皆様も課題を理解されていて、スムーズに進みましたが、一部主旨目的が伝わっていなかったことがありました。
【今後改善が必要と思われること】 事前に貴庁及び事業者から地区の皆様説明会を実施することをご提案します。 また、事業者と地区の間に市又は区のご担当者に入っただけだと助かります。 一部そういった地区もありました。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 コロナの影響もあり中止期間があったこと、年度を跨ったことで役員の交代などがあり、連絡がうまく取れないことや地区により状況に変化があり中止となった地区がありました。
【今後改善が必要と思われること】 貴庁の意向が正しく伝わるよう、貴庁、事業者を含め、密にコミュニケーションをとる手段を検討することをご提案します。 一部の地区では、区役所の担当者の方が間に入っただいた地区もありました。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、得られた成果はありますか。また、事業全体を通して、当初期待された事業効果は得られましたか)
受講された皆様にはご満足いただけ、積極的に活用使用という意欲にもつなげられたと考えます。 各地区毎に追加講座のご要望をいただき地区毎に住民向けスマホ講座を実施させていただいております。 また、必要な方には個別に継続サポートさせていただいております。 機器導入の相談もいただきました。
自由記入欄
デジタルデバイド解消のために、今回の事業は素晴らしい取り組みです。 シニア向けのデジタル化は、繰り返し継続した活動が必要な事柄です。 また機会がありましたら企画段階から一緒にさせていただければ幸いです。